

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
原始	-7000(縄文時代)			
	-400(縄文時代)			
古墳・飛鳥時代	前1世紀(弥生時代)	・近畿まで稲作が北進する		
	3世紀(弥生時代)	・稲作の北進 本州北端(青森)まで		
	239(3世紀)	・邪馬台国卑弥呼[親魏倭王]の称号を受ける		
	300(4世紀頃)			
	500(6世紀当初)			
	645(大化元年)	・大化の改新		
	646(大化2年)	・班田収授の法を制定		
		・公地公民制を宣言 ・租・庸・調を定める		
	694(持統8年)	・藤原京に遷都		
	701(大宝元年)	・大宝律令		
	702(大宝2年)			
	708(和銅元年)		・出羽国の建郡	
奈良時代	710(和銅3年)	・平城京に遷都		
	712(和銅5年)		・出羽国の建国	
	714(和銅7年)		・尾張・上野などから200戸の柵戸くる	
	719(養老3年)			
	722(養老6年)	・墾田100万町歩の開墾を計画する		
	723(養老7年)	・墾田の開発をすすめ、用益の年限をきめる(三世一身法)		
	729(天平元年)			・天平年間:右近田(最上郡)*5
	741(天平13年)			
	743(天平15年)	・墾田を私財とする事を許す(墾田永世私有令)		
	746(天平18年)			
	757(天平宝字元年)			
	765(天平神護元年)	・寺院以外の墾田開発を禁止		
	784(延暦3年)	・長岡京に遷都		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
平安時代	794(延暦13年)	・平安京に遷都		
	821(弘仁12年)	・空海、満濃池を作る		
	902(延喜2年)	・延喜の荘園整理令		
	927(延長5年)	・『延喜式』完成		
	平安時代	・平安中期の耕地面積862,767町		・出羽国:耕地26,109町(秋田県を含む)
	1017(寛仁元年)	・藤原道長が太政大臣となる		
	1045(寛徳2年)	・寛徳の荘園整理令		
	1051(永承6年)		・この年、前九年合戦始まる	
	1055(天喜3年)			
	1062(康平5年)	・前九年の役平定(安部氏亡ぶ)	・安倍貞任、厨川の柵で敗北し、前九年合戦おわる	
	1069(延久元年)	・延久の荘園整理令		
	1083(永保3年)		・この年、後三年合戦おこる	
	1086(応徳3年)	・白河上皇、院政を始める		
	1087(寛治元年)	・後三年の役平定		
	1156(保元元年)	・保元の乱		
1159(平治元年)	・平治の乱			
1167(仁安2年)	・平清盛、太政大臣となる			
鎌倉時代	1183(寿永2年)			
	1185(文治元年)	・守護、地頭を設置		
	1192(建久3年)	・源頼朝、征夷大將軍となる		
	1221(承久3年)	・承久の乱		
	1232(貞永元年)	・北条泰時、関東御成敗式目(貞永式目)制定		
	1274(文永11年)	・文永の役[蒙古襲来]		
	1281(弘安4年)	・弘安の役[蒙古襲来]		
	1297(永仁5年)	・永仁の徳政令発布		
	1333(元弘3年)	・鎌倉幕府滅亡		
	1334(建武元年)	・建武の中興		
	1336(建武3年)	・後醍醐天皇、吉野に移る(南北朝分裂)		
	1338(延元3年)	・足利尊氏、征夷大將軍となる		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
室町時代	1356(延文元年)		・斯波兼頼、山形に入部したと伝えられる	
	1368(応安元年)	・足利義満、征夷大將軍となる		
	1392(明德3年)	・南北朝の合一		
	1428(正長元年)	・正長の土一揆		
	1449(宝徳元年)			・玉蟲の池(東村山郡)*5
	1460(寛正元年)			
	1467(応仁元年)	・応仁の乱起こる		
	1488(長享2年)	・加賀一向一揆		
	室町時代	・室町期の耕地面積854,791町		・出羽国:耕地-町(秋田県を含む)
	1506(永正3年)			
	1536(天文5年)		・伊達植宗、「塵芥集170力条」を制定	
	1543(天文12年)	・種子島に鉄砲伝来		
1573(天正元年)	・室町幕府滅びる			
安土・桃山時代	1581(天正9年)			
	1582(天正10年)	・本能寺の変 ・太閤検地始まる(~'98)		
	1585(天正13年)	・豊臣秀吉、関白となる		
	1588(天正16年)	・刀狩、封建的身分制、兵農分離		
	1590(天正18年)			
	1591(天正19年)		・米沢領主伊達政宗、陸奥国岩手沢に転封となる	
	1592(文禄元年)			
	1594(文禄3年)			
	1596(慶長元年)			・慶長年間:高松堰(西村山郡、581町)、西川堰(南置賜郡)*5 ・慶長・元和年間:因幡堰(東田川郡)*5
	1597(慶長2年)			
	1598(慶長3年)			
	1599(慶長4年)			
	1600(慶長5年)	・関ヶ原の戦い		
	1601(慶長6年)		・上杉景勝、会津120万石から米沢30万石に減転封	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
	1602(慶長7年)		・最上義光、庄内3郡(飽海・田川・櫛引)と由利郡を加増される	
	1603(慶長8年)	・徳川家康、征夷大將軍に任命され、江戸幕府を開く		
	1604(慶長9年)			
	1605(慶長10年)			
	1606(慶長11年)			
	1607(慶長12年)			
	1608(慶長13年)			
	1609(慶長14年)			
	1610(慶長15年)			
	1611(慶長16年)			
	1612(慶長17年)		・最上義光、狩川城将北楯大学に狩川大堰を開削させる	・北楯大堰(東田川郡)*5
	1613(慶長18年)			
	1614(慶長19年)	・大阪冬の陣		
	1615(元和元年)	・大阪夏の陣 ・武家諸法度、禁中並公家諸法度を定める		
	1616(元和2年)			
	1617(元和3年)			
	1618(元和4年)			
	1619(元和5年)			
	1620(元和6年)			
	1621(元和7年)			
	1622(元和8年)		・最上氏改易	
	1623(元和9年)		・上杉景勝死去	・泉田新田(最上郡)*5
	1624(寛永元年)			・吉沢大堤(最上郡)*5
	1625(寛永2年)			
	1626(寛永3年)			
	1627(寛永4年)			
	1628(寛永5年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
	1629(寛永6年)			
	1630(寛永7年)			
	1631(寛永8年)			
	1632(寛永9年)			
	1633(寛永10年)			
	1634(寛永11年)			
	1635(寛永12年)			
	1636(寛永13年)			
	1637(寛永14年)			
	1638(寛永15年)			
	1639(寛永16年)	・鎖国令		
	1640(寛永17年)			
	1641(寛永18年)			
	1642(寛永19年)			
	1643(寛永20年)	・田畑永代売買禁止令		
	1644(正保元年)			・長堀堰(西置賜郡)*5
	1645(正保2年)			
	1646(正保3年)			
	1647(正保4年)			
	1648(慶安元年)			
	1649(慶安2年)	・地方五役5人組制度		
	1650(慶安3年)			
	江戸時代前期			・米沢藩30万石、山形藩15万石、鶴岡藩14万石、新庄藩7万石、上山藩3万石
	1651(慶安4年)			
	1652(承応元年)			・兵助新田(西村山郡)*5
	1653(承応2年)	・幕府、玉川上水開削を許し、費用を与える		
	1654(承応3年)			
	1655(明暦元年)			
	1656(明暦2年)			
	1657(明暦3年)			
	1658(万治元年)			・八兵衛新田(西村山郡)、成田新田(西田川郡、239町)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
	1659(万治2年)			
	1660(万治3年)			
	1661(寛文元年)			
	1662(寛文2年)			
	1663(寛文3年)			
	1664(寛文4年)		・米沢藩、15万石に減封	
	1665(寛文5年)			
	1666(寛文6年)	・山川掟の発令		
	1667(寛文7年)			
	1668(寛文8年)			
	1669(寛文9年)			
	1670(寛文10年)			
	1671(寛文11年)			
	1672(寛文12年)		・幕府城米の米置場(瑞賢倉)酒田に完成、羽州御城米船、酒田を出行(西廻り航路の初出船)	
	1673(延宝元年)			
	1674(延宝2年)	・分地制限法		
	1675(延宝3年)			・大堰(西村山郡、50町)、沼平新田(西村山郡)*5
	1676(延宝4年)			
	1677(延宝5年)			
	1678(延宝6年)			
	1679(延宝7年)			
	1680(延宝8年)			
	1681(天和元年)			
	1682(天和2年)			
	1683(天和3年)			
	1684(貞享元年)	・河村瑞賢、淀川下流の治水事業に着手(~'85)		
	1685(貞享2年)			
	1686(貞享3年)			
	1687(貞享4年)	・田畑永代売買禁止を再令する		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
	1688(元禄元年)			・和合原開墾(南村山郡)*5
	1689(元禄2年)			
	1690(元禄3年)			
	1691(元禄4年)			
	1692(元禄5年)			
	1693(元禄6年)			・大川堰(東田川郡)*5
	1694(元禄7年)			
	1695(元禄8年)			
	1696(元禄9年)	・宮崎安貞「農業全書」刊		
	1697(元禄10年)			
	1698(元禄11元年)			
	1699(元禄12年)			
	1700(元禄13年)			
	1701(元禄14年)			
	1702(元禄15年)			
	1703(元禄16年)			
	1704(宝永元年)	・大和川の付替工事開始		
	1705(宝永2年)	・大和川旧河道新田開発		
	1706(宝永3年)			・猪又新田(東田川郡)*5
	1707(宝永4年)	・富士山噴火、宝永山できる		
	1708(宝永5年)	・貝原益軒『大和本草』		
	1709(宝永6年)	・新井白石を登用する		
	1710(宝永7年)			
	1711(正徳元年)			
	1712(正徳2年)			
	1713(正徳3年)			
	1714(正徳4年)			・越中堰(東田川郡、256町)*5
	1715(正徳5年)			
	1716(享保元年)	・徳川吉宗、第8代将軍となる		・享保年間:新庄新田(最上郡、50町)*5
	1717(享保2年)			
	1718(享保3年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
江戸時代	1719 (享保4年)			
	1720 (享保5年)			
	1721 (享保6年)	・目安箱の設置		
	1722 (享保7年)	・新田開発の奨励		
	1723 (享保8年)			
	1724 (享保9年)			
	1725 (享保10年)			
	1726 (享保11年)	・新田検地条目の制定		・広野新田(東田川郡、102町)*5
	1727 (享保12年)			
	1728 (享保13年)			
	1729 (享保14年)			
	1730 (享保15年)			
	1731 (享保16年)			
	1732 (享保17年)	・山陽・南海・西海・畿内蝗害のため大飢饉		
	1733 (享保18年)			
	1734 (享保19年)			
	1735 (享保20年)	・幕府、米価下落を防ぐため最低価格を決める		
	1736 (元文元年)			
	1737 (元文2年)			
	1738 (元文3年)			
	1739 (元文4年)			
	1740 (元文5年)			
	1741 (寛保元年)			
	1742 (寛保2年)			
	1743 (寛保3年)			
	1744 (延享元年)			
	1745 (延享2年)			
	1746 (延享3年)			
1747 (延享4年)				
1748 (寛延元年)				

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
	1749(寛延2年)	・定免制を全面的に施行		
	1750(寛延3年)			
	江戸時代中頃	・江戸中期の耕地面積:田1,695,923町、畑1,417,074町、計3,013,546町		・出羽国:田83,652町、畑36,309町、計119,961町(秋田県を含む)
	1751(宝暦元年)			
	1752(宝暦2年)			
	1753(宝暦3年)			
	1754(宝暦4年)			
	1755(宝暦5年)	・木曾川の治水工事完成	・奥羽地方大飢饉	
	1756(宝暦6年)			
	1757(宝暦7年)			
	1758(宝暦8年)			
	1759(宝暦9年)			
	1760(宝暦10年)			
	1761(宝暦11年)			
	1762(宝暦12年)			
	1763(宝暦13年)			
	1764(明和元年)			
	1765(明和2年)			・遠畑開墾(山形市、数十町)*5
	1766(明和3年)			
	1767(明和4年)		・上杉治憲(鷹山)、9代米沢藩主になる	
	1768(明和5年)		・本間光丘、備荒粃として2万俵を庄内藩に献上	
	1769(明和6年)			
	1770(明和7年)			
	1771(明和8年)			
	1772(安永元年)	・田沼意次、老中となる		
	1773(安永2年)			・吹屋敷開墾(南置賜郡)*5
	1774(安永3年)			
	1775(安永4年)		・米沢藩、漆、楮、桑の各100万本植立て計画	
	1776(安永5年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
	1777(安永6年)			
	1778(安永7年)			
	1779(安永8年)			
	1780(安永9年)			
	1781(天明元年)			・天明年間:庚申富沢左沢町溜池(西村山郡、30町)*5
	1782(天明2年)	・下総印旛沼干拓に着手 ・瀬戸内・九州など大凶荒		
	1783(天明3年)	・浅間山大噴火 ・冷害のため諸国大飢饉		
	1784(天明4年)	・この春夏諸国飢饉、農民流亡のため農村荒廃		
	1785(天明5年)	・奥羽飢饉		
	1786(天明6年)	・卜総子貢沼開発に着手するも、間もなく中止 ・老中田沼意次失脚 ・諸国大凶作		
	1787(天明7年)	・松平定信、老中就任 ・寛政の改革が始まる		
	1788(天明8年)			
	1789(寛政元年)	・困米の制を定める		
	1790(寛政2年)			
	1791(寛政3年)			
	1792(寛政4年)			
	1793(寛政5年)			
	1794(寛政6年)			
	1795(寛政7年)			・黒井堰(東置賜郡)*5
	1796(寛政8年)			
	1797(寛政9年)			・本郷村水路(西村山郡、灌漑面積200町)*5
	1798(寛政10年)			
	1799(寛政11年)			
	1800(寛政12年)	・伊能忠敬、蝦夷地を測量する		
	1801(享和元年)			
	1802(享和2年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
	1803(享和3年)			・九郎右衛門堰(西村山郡)*5
	1804(文化元年)			
	1805(文化2年)			
	1806(文化3年)			
	1807(文化4年)			
	1808(文化5年)			
	1809(文化6年)			
	1810(文化7年)			
	1811(文化8年)			
	1812(文化9年)			
	1813(文化10年)			
	1814(文化11年)			
	1815(文化12年)			
	1816(文化13年)			
	1817(文化14年)	『農具便利論』		
	1818(文政元年)			・飯豊穴堰(西置賜郡)*5
	1819(文政2年)			
	1820(文政3年)			
	1821(文政4年)	・伊能忠敬、『大日本沿海実測地図』完成		
	1822(文政5年)		・上杉鷹山死去	・幾右衛門新田(北村山郡)*5
	1823(文政6年)			
	1824(文政7年)			
	1825(文政8年)			
	1826(文政9年)			・上ノ山用水堰(南村山郡)*5
	1827(文政10年)			
	1828(文政11年)			
	1829(文政12年)			
	1830(天保元年)			
	1831(天保2年)	・諸国石高を調査する		
	1832(天保3年)			
	1833(天保4年)	・この冬、風水害により奥羽・関東飢饉	・この年、奥州大凶作	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
	1834(天保5年)	・諸国飢饉		
	1835(天保6年)			・太田新田(北村山郡)*5
	1836(天保7年)	・諸国飢饉、奥羽地方最も甚だしく死者10万人に及ぶ		
	1837(天保8年)	・大塩平八郎の乱 ・この春、諸国飢餓、餓死多数		・名和新田(北村山郡)*5
	1838(天保9年)			・天保堤(東田川郡、50余町)*5
	1839(天保10年)	・この年、奥羽飢饉、死者・流民多数		
	1840(天保11年)		・庄内藩、長岡転封を命ぜられ、領民の反対運動おこる	
	1841(天保12年)	・天保改革はじまる		
	1842(天保13年)			・牧野原開墾(南村山郡)*5
	1843(天保14年)	・印旛沼開墾開始		・湯野沢池(北村山郡)*5
	1844(弘化元年)	・印旛沼開墾中止		・巫子窪池(東村山郡)*5
	1845(弘化2年)			
	1846(弘化3年)			
	1847(弘化4年)	・信州大地震(善光寺地震)		
	1848(嘉永元年)			
	1849(嘉永2年)			
	1850(嘉永3年)			
	1851(嘉永4年)			
	1852(嘉永5年)			
	1853(嘉永6年)	・ペリー浦賀来航		
	1854(安政元年)	・日米和親条約		
	1855(安政2年)	・江戸大地震(安政の大地震)		
	1856(安政3年)			
	1857(安政4年)			
	1858(安政5年)	・日米修好通商条約		・西荒瀬村開墾(飽海郡、100町)*5
	1859(安政6年)			
	1860(万延元年)	・桜田門外の変		・八ヶ郷用水(東村山郡)、大壺新田(飽海郡)*5
	1861(文久元年)			
	1862(文久2年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
	1863(文久3年)			
	1864(元治元年)	・禁門の変、第1次長州征伐		
	1865(慶応元年)			
	1866(慶応2年)	・薩長同盟、第2次長州征伐		・忠川堰(南村山郡)*5
	1867(慶応3年)	・大政奉還、王政復古宣言		
	1868(慶応4年)	・鳥羽・伏見の戦い(戊辰戦争起こる)		
	1868(明治元年)	・明治維新		
	1869(明治2年)	・東京遷都 ・版籍奉還 ・開拓使設置		
	1870(明治3年)	・勸農局(翌年、開墾局に改称)を設ける		
	1871(明治4年)	・戸籍法を定める ・廃藩置県 ・田畑勝手作許可		
	1872(明治5年)	・田畑売買禁止の解除		
	1873(明治6年)	・徴兵令・地租改正条例を公布 ・内務省設置		
	1874(明治7年)	・北海道屯田兵制度を設ける		
	1875(明治8年)			
	1876(明治9年)		・山形県が誕生(初代統一県令誕生)	
	1877(明治10年)	・地租軽減(地価の3%から2.5%に) ・西南戦争		・青龍寺用水取入口江口水門を改築*2 ・吉田堰用水路開削着工*2
	1878(明治11年)			
	1879(明治12年)	・国営安積疏水猪苗代湖開墾事業に着工(~'82)		
	1880(明治13年)	・区町村会法制定施行		
	1881(明治14年)	・農商務省設置 ・大日本農会創立	・明治天皇、県内巡幸	
	1882(明治15年)	・日本銀行開業		
	1883(明治16年)			
	1884(明治17年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
明治時代	1885(明治18年)	・太政官制を廃止(内閣制度を樹立)		
	1886(明治19年)			
	1887(明治20年)	・石川県石川郡上安原村で石川式区画整理を開始		
	1888(明治21年)	・市制及び町村制を公布		・最上堰水路(トンネル掛樋なども)*2
	1889(明治22年)	・大日本帝国憲法発布 ・東海道本線全通		
	1890(明治23年)	・水利組合条例・公有水面埋立法公布		
	1891(明治24年)	・濃尾大地震		
	1892(明治25年)			
		・耕地面積、田2,805,212ha、畑2,307,956ha、計5,113,168ha		・田83,288ha、畑41,587ha、計124,875ha
	1893(明治26年)		・東田川郡の阿部亀治、水稻品種「亀の尾」を創選する	
	1894(明治27年)	・日清戦争(~'95)		
	1895(明治28年)			
	1896(明治29年)	・河川法制定		
	1897(明治30年)	・砂防法・森林法を公布		
	1898(明治31年)			
	1899(明治32年)	・耕地整理法公布	・奥羽本線、福島・米沢間開業	
	1900(明治33年)			
	1901(明治34年)		・奥羽本線、山形まで開通	
	1902(明治35年)	・日英同盟成立 ・北海道土巧組合法公布		
	1903(明治36年)		・奥羽本線、新庄まで開通	
1904(明治37年)	・日露戦争(~'05)			
1905(明治38年)	・耕地整理法改正(灌漑排水の追加)			
1906(明治39年)				
1907(明治40年)	・耕地整理研究会(後の農業土木学会)発足		・吉田堰取入水門及び下流水路トンネル改築着工*2	
1908(明治41年)				
1909(明治42年)	・耕地整理法改正(開墾・地目変換を認め、耕地整理組合を法人化)			
1910(明治43年)	・韓国併合			
1911(明治44年)				

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
大正時代	1912(大正元年)			・長者原開拓用水路*2
	1913(大正2年)	・北海道大冷害		
	1914(大正3年)	・第一次世界大戦勃発 ・耕地整理法改正(目的に埋立・干拓を追加)		・飽海郡耕地整理地区用水取入施設着工*2
	1915(大正4年)			
	1916(大正5年)			
	1917(大正6年)	・米価高騰		・松沢池(南村山郡)*2
	1918(大正7年)	・富山県下で米騒動、以後1道3府32県に波及		
	1919(大正8年)	・都市計画法公布		・大倉池*2
	1920(大正9年)	・第1回国勢調査実施(総人口7698万人、内地5596万人)		・鶴子沢池(北村山郡)*2
	1921(大正10年)	・米穀法公布		
	1922(大正11年)			
	1923(大正12年)	・関東大震災		
	1924(大正13年)		・羽越線全線開通	・吉田堰用水改良事業着工(～'29) ・大町溝用水改良事業着工(～'29)
	1925(大正14年)	・普通選挙法(男子)公布		・大沢池(飽海郡)、大町溝改修着工*2 ・最上堰用水改良事業着工(～'28)
	1926(大正15年)	・自作農創設維持補助規則制定公布		
	1926(昭和元年)			
	1927(昭和2年)	・金融恐慌起こり、休業銀行続出 ・丹後地震		・笹川堰用水改良事業着工(～'34)
	1928(昭和3年)	・普通選挙による最初の衆議院議員総選挙		
	1929(昭和4年)	・世界的経済大恐慌 ・農業土木学会(後の農業農村工学会)創立		・高畑第1池・高畑第2池*2 ・高島町外2ヶ町村村用水改良事業着工(～'51)
	1930(昭和5年)	・昭和恐慌 ・農業恐慌、農村の危機深刻化する		
	1931(昭和6年)	・満州事変起こる ・北海道、東北に冷害、未曾有の大凶作		・中川堰用水改良事業着工(～'39)
	1932(昭和7年)	・第1次上海事変 ・5.15事件		・鬼面川用水改良事業着工(～'35) ・大鳥湖用水改良事業着工(～'34)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
		・時局匡救耕地関係農業土木事業発足		
	1933(昭和8年)	・国際連盟脱退 ・米穀統制法公布 ・三陸地震大津波		
	1934(昭和9年)	・満州国帝政実施(皇帝溥儀) ・室戸台風	・冷害による大凶作で、借金累積・娘身売り・ 欠食児童など多くでる	・寒河江川沿岸用水改良事業着工(～'36) ・笹川筋用水改良事業着工(～'36)
	1935(昭和10年)			・寒河江堰用水、四ヶ村堰用水、東根用水改修着工*2 ・両止井皿溝用水改良事業着工(～'42)
	1936(昭和11年)	・2.26事件		・三郷堰用水改良事業着工(～'42)
	1937(昭和12年)	・廬溝橋事件(日中戦争開始)		・四ヶ村堰用水改良事業着工(～'40)
	1938(昭和13年)	・国家総動員法公布 ・農地調整法公布		・両止井皿溝下流部用水改良事業着工(～'42)
	1939(昭和14年)	・第2次世界大戦はじまる		・大谷池・伏熊池*2 ・青龍寺川上流排水改良事業着工(～'43)
	1940(昭和15年)	・米穀管理規則により統制		・高松堰用水改良事業着工(～'45) ・大谷地排水改良事業着工(～'46)
	1941(昭和16年)	・農地開発法公布、農地開発営団設立 ・太平洋戦争開始		・日向川沿岸用水改良事業着工(～'51)
	1942(昭和17年)	・食糧管理法公布(供出配給強化)		・深沢池*2
	1943(昭和18年)			・引滝池・本沢池・小山ヶ沢池・宇の沢池*2 ・大楯大堰用水改良事業着工(～'49) ・八沢川沿岸用水改良事業着工(～'45)
	1944(昭和19年)			
	1945(昭和20年)	・広島、長崎に原爆投下 ・ポツダム宣言受諾、終戦 ・緊急開拓事業実施要領制定 ・農地改革 ・自作農創設特別措置法制定 ・農地調整法改正 ・地方農地事務局設置	・県下に空襲	・黒川第一開墾工事着工(～'47) ・吉川開墾工事着工(～'46) ・戸沢開墾工事着工(～'52) ・西郷開墾工事着工(～'47) ・葉山開墾工事着工(～'62) ・名木沢開墾工事着工(～'58) ・大海平開墾工事着工(～'62)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
	1946(昭和21年)			<ul style="list-style-type: none"> ・白鷺野開墾工事着工(～'53) ・金山西部開墾工事着工(～'52) ・前森原開墾工事着工(～'55) ・清水台開墾工事着工(～'46) ・和田開墾工事着工(～'47) ・大和開墾工事着工(～'55) ・温海川開墾工事着工(～'59) ・袖浦第一開墾工事着工(～'46) ・袖浦第二開墾工事着工(～'47) ・杉沢開墾工事着工(～'64)
	1947(昭和22年)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法施行 ・農業協同組合法公布 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地改革、第1回目の買収実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・高来池*2 ・三光堰用水改良事業着工(～'54) ・大山川沿岸用水改良事業着工(～'48) ・青山堰用水改良事業着工(～'51) ・広野堰用水改良事業着工(～'48) ・長根山開墾工事着工(～'53) ・大富開墾工事着工(～'47) ・川前開墾工事着工(～'56) ・柏木山開墾工事着工(～'51) ・泉ヶ丘開墾工事着工(～'47) ・上野開墾工事着工(～'47) ・小又開墾工事着工(～'55) ・檜山開墾工事着工(～'62) ・栃台開墾工事着工(～'48) ・中郡開墾工事着工(～'54) ・小松開墾工事着工(～'48) ・玉庭開墾工事着工(～'49) ・川代山開墾工事着工(～'55) ・黒川第二開墾工事着工(～'52) ・中台開墾工事着工(～'59)
				<ul style="list-style-type: none"> ・八面川排水改良事業着工(～'50) ・西通川排水改良事業着工(～'53)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
	1948 (昭和23年)	<ul style="list-style-type: none"> 建設省設置 		<ul style="list-style-type: none"> 野尻川排水改良事業着工(～'50) 焼野開墾工事着工(～'53) 三郷開墾工事着工(～'56) 杉の平開墾工事着工(～'48) 八鍬沢開墾工事着工(～'48) 若木原開墾工事着工(～'56) 川口開墾工事着工(～'54) 岩野開墾工事着工(～'58) 鳥海山麓開墾工事着工(～'63) 荒瀬郷開墾工事着工(～'60)
	1949 (昭和24年)	<ul style="list-style-type: none"> 土地改良法公布 ドッジ勧告による均衡予算実施 		<ul style="list-style-type: none"> 越中堰用水改良事業着工(～'60) 新井田堰排水改良事業着工(～'49) 中川開墾工事着工(～'56) 清水山開墾工事着工(～'53) 幸生開墾工事着工(～'58) 最上川開墾工事着工(～'58) 芦沢開墾工事着工(～'49) 笹森開墾工事着工(～'52) 庭月開墾工事着工(～'49) 上郷開墾工事着工(～'52) 瀬の木沢開墾工事着工(～'54) 東月開墾工事着工(～'55) 玉川開墾工事着工(～'53) 白玉川開墾工事着工(～'58) 大台野開墾工事着工(～'61)
	1950 (昭和25年)	<ul style="list-style-type: none"> 朝鮮戦争勃発 国土総合開発法公布 		<ul style="list-style-type: none"> 八沢川沿岸用水改良事業着工(～'53) 小清開墾工事着工(～'52) 和合平開墾工事着工(～'55) 白倉開墾工事着工(～'53) 入間開墾工事着工(～'53) 北山開墾工事着工(～'50) 宮下開墾工事着工(～'53)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
昭和時代	1950 (昭和25年)			<ul style="list-style-type: none"> ・山刃伐開墾工事着工(～'52) ・沼沢開墾工事着工(～'59) ・有屋開墾工事着工(～'50) ・大畑山開墾工事着工(～'59) ・板谷開墾工事着工(～'53) ・小松第二開墾工事着工(～'50) ・前山開墾工事着工(～'52)
	1951 (昭和26年)	<ul style="list-style-type: none"> ・積雪寒冷地単作地帯振興臨時措置法公布 	<ul style="list-style-type: none"> ・無着成恭編『山びこ学校』刊行 	<ul style="list-style-type: none"> ・青龍寺川用排水改良事業着工(～'61) ・中沢開墾工事着工(～'51) ・平塩開墾工事着工(～'61) ・沼山開墾工事着工(～'61) ・真室川開墾工事着工(～'55) ・舟形西部開墾工事着工(～'57) ・南原開墾工事着工(～'52) ・牛森開墾工事着工(～'55) ・河北開墾工事着工(～'52) ・西根開墾工事着工(～'54) ・越中山開墾工事着工(～'55) ・高瀬開墾工事着工(～'61)
	1952 (昭和27年)	<ul style="list-style-type: none"> ・農地法公布 		<ul style="list-style-type: none"> ・国営泉田川農業水利事業着工(～'67)※ ・一の沢用水改良事業着工(～'64) ・諏訪堰用水改良事業着工(～'66) ・山口開墾工事着工(～'52) ・大高根開墾工事着工(～'62) ・原田開墾工事着工(～'52) ・袖原開墾工事着工(～'52) ・毒沢開墾工事着工(～'57) ・宝栄開墾工事着工(～'61) ・東郷開墾工事着工(～'52) ・鷹の巣開墾工事着工(～'52) ・萩野第二開墾工事着工(～'55) ・南山開墾工事着工(～'53)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
				<ul style="list-style-type: none"> ・松坂開墾工事着工(～'52) ・海上開墾工事着工(～'55) ・手の子開墾工事着工(～'52) ・小白川開墾工事着工(～'52) ・岳谷開墾工事着工(～'54) ・添川開墾工事着工(～'52) ・平出沢開墾工事着工(～'56) ・中善寺開墾工事着工(～'54) ・羽黒山開墾工事着工(～'54) ・天狗森開墾工事着工(～'52) ・赤川開墾工事着工(～'55) ・親生開墾工事着工(～'55)
	1953(昭和28年)	・北九州及び和歌山県に大水害		<ul style="list-style-type: none"> ・最上川用水改良事業着工 ・神尾開墾工事着工(～'56) ・作谷沢開墾工事着工(～'55) ・中山平開墾工事着工(～'54) ・升形野開墾工事着工(～'55) ・土奥田開墾工事着工(～'53) ・河南開墾工事着工(～'53) ・中村開墾工事着工(～'54) ・石倉開墾工事着工(～'55) ・手向開墾工事着工(～'60) ・小文地楯開墾工事着工(～'55) ・青沢開墾工事着工(～'56)
	1954(昭和29年)			<ul style="list-style-type: none"> ・金俣開墾工事着工(～'60) ・熊沢開墾工事着工(～'60)
	1955(昭和30年)	・愛知用水公団、農地開発機械公団設立		<ul style="list-style-type: none"> ・小田島用水改良事業着工(～'64)
	1956(昭和31年)			<ul style="list-style-type: none"> ・屋代郷用排水改良事業着工 ・大平開墾工事着工(～'56)
	1957(昭和32年)	・八郎潟干拓事業開始		
	1958(昭和33年)			<ul style="list-style-type: none"> ・国営最上川下流右岸農業水利事業着工(～'70)※ ・当山開墾工事着工(～'63)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
	1959(昭和34年)	・伊勢湾台風	・9.27 伊勢湾台風通過	・寺内開墾工事着工(～'61)
	1960(昭和35年)	・所得倍増計画 ・食糧増産対策事業から農業基盤整備事業に名称変え		
	1961(昭和36年)	・農業基本法制定 ・水資源開発公団法公布(設立は'62) ・耕地面積、田3,414,000ha、畑2,719,000ha、計6,136,000ha	・第2室戸台風通過、被害20億円余にのぼる	・天童用水改良事業着工(～'68)
	1962(昭和37年)			・野川用水改良事業着工
	1963(昭和38年)	・団体営圃場整備事業の創設		・榊沢ダム完成※ ・泉田川用水改良事業着工(～'68) ・白川北部ほ場整備事業着工(県下第1号、～'70)
	1964(昭和39年)	・東京オリンピック ・八郎潟大潟村誕生 ・改正河川法公布		・国営赤川農業水利事業着工(～'74)※ ・最上川下流右岸用排水改良事業着工 ・最上川排水改良事業着工
	1965(昭和40年)			・赤川用排水改良事業着工
	1966(昭和41年)	・土地改良長期計画(1次)		・日向川用排水改良事業着工
	1967(昭和42年)	・公害対策基本法公布	・羽越水害発生、死者6人、被害額236億円	
	1968(昭和43年)			・国営米沢平野農業水利事業着工(～'82)※ ・国営月山山麓農地開発事業着工(～'77)※ ・白鷹用水改良事業着工
	1969(昭和44年)	・米の生産制限始まる(開田抑制措置) ・農業振興地域の整備に関する法律公布 ・農道舗装事業の創設		・国営白川農業水利事業着工(～'87)※ ・国営赤川客土事業着工(～'79)※ ・村上東根用水改良事業着工 ・米沢平野用排水改良事業着工
	1970(昭和45年)			・置賜東部広域農道着工(県下第1号)
	1971(昭和46年)	・政府米の買入制限導入 ・沖縄返還 ・環境庁発足		
	1972(昭和47年)	・土地改良法改正 ・農村基盤総合整備パイロット事業の創設		・国営最上川中流農業水利事業着工(～'86)※
	1973(昭和48年)	・第一次石油ショック ・土地改良長期計画(2次)		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
	1974(昭和49年)	・国土利用長期計画法公布 ・国土庁発足		
	1975(昭和50年)			・国営村山北部農業水利事業着工(～'90)※ ・水窪ダム完成※
	1976(昭和51年)	・土地改良法改正	・酒田市で大火、1774棟焼失	
	1977(昭和52年)			・国営新庄農業水利事業着工(～'92)※ ・三又ダム完成※
	1978(昭和53年)	・農林省、農林水産省に省名変更		
	1979(昭和54年)	・第二次石油ショック ・国営農地防災排水事業の創設		
	1980(昭和55年)			
	1981(昭和56年)	・食糧管理法の改正		
	1982(昭和57年)			
	1983(昭和58年)	・土地改良長期計画(3次) ・日本海中部地震		
	1984(昭和59年)	・農業振興地域の整備に関する法律と土地改良法の改正 ・118品目の関税引き下げなど対外経済対策を決定		
	1985(昭和60年)			
	1986(昭和61年)	・21世紀へ向けての農政の基本方向		
	1987(昭和62年)	・水田農業確立対策決定		
	1988(昭和63年)	・日米牛肉オレンジ問題、GATTでの紛争解決へ ・青函トンネル、瀬戸大橋開通		・国営泉田川施設整備事業着工(～'92)※
	1989(平成元年)			・国営鳥海南麓農地開発事業着工(～'97)※
	1990(平成2年)			・新鶴子ダム完成※
	1991(平成3年)	・農業農村整備事業と事業名変わる		・国営米沢平野施設整備事業着工(～'94)※
	1992(平成4年)		・山形新幹線開業	
	1993(平成5年)	・環境基本法案決定 ・北日本中心に大冷害、作況指数74、冷害対策として米の緊急輸入		・国営最上川下流農業水利事業着工(～'01)※

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	山形県の歴史	山形県の水土整備の歴史
平成時代	1994(平成6年)	・ウルグアイ・ラウンド農業合意関連対策大綱を決定		
	1995(平成7年)	・阪神・淡路大震災		
	1996(平成8年)			・国営寒河江川下流農業水利事業着工(～'05)※
	1997(平成9年)	・環境影響評価法(環境アセス法)公布		
	1998(平成10年)	・中央省庁等改革基本法成立		
	1999(平成11年)	・食料・農業・農村基本法成立		
	2000(平成12年)	・食料・農業・農村基本計画閣議決定		・国営白川施設整備事業着工(～'04)※
	2001(平成13年)			・国営最上川下流沿岸農業水利事業着工(～'11)※
	2002(平成14年)			
	2003(平成15年)			・国営最上川中流施設整備事業着工(～'08)※
	2004(平成16年)	・中越地震		
	2005(平成17年)	・耕地面積、2,556,000ha、畑2,136,000ha、計4,692,000ha		・田98,500ha、畑26,400ha、計124,900ha
	2006(平成18年)			・国営米沢平野農業水利事業着工※
	2007(平成19年)	・中越沖地震		
	2008(平成20年)	・岩手・宮城内陸地震		
2009(平成21年)				
2010(平成22年)			・国営庄内あさひ地すべり対策事業着工※ ・国営赤川二期農業水利事業着工※	
2011(平成23年)	・東日本大震災 3.11 東北地方太平洋沖地震(死者・不明者18,617人(H24.11.14警察庁)、津波による農地の流失・冠水等被害推定面積23,600ha(H23.3.29農林水産省))			
2012(平成24年)				
2013(平成25年)				

<参考>

- *1 「疏水百選」(2006年)(全国土地改良事業団体連合会)
- *2 「日本水利施設進展の研究」(1958年)(牧 隆泰著、土木雑誌社)
- *3 「明治前日本土木史」(1956年)(日本学術振興会、日本学士院日本科学史刊行会)
- *4 「農業土木史」(1979年)((社)農業土木学会)
- *5 「明治以前日本土木史」(1936年)(土木学会編、岩波書店)

時代

西暦(和暦)

全国の歴史

山形県の歴史

山形県の水土整備の歴史

※ 「各地方農政局ホームページ」等より抜粋

なお、「水土整備の歴史」欄で無印の事業等は「山形県の土地改良」(1972年)より抜粋

また、山形県の歴史は「山形県の歴史」(1998年)(山川出版社)より抜粋